

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 平安養育院 むくの木園		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月案、週案にソッテ保育・療育を行い、保育内容が固定化されないようにし、遊びの中で学習できている。	その子にとっての発達段階を踏まえ、スモールステップで目標達成ができる課題を決めている。障害の子の特性に合わせた支援の方法・工夫等を実践を踏まえて伝えることができる。	非常勤職員が増えてきているため、常勤職員との連携を考えていく。
2	毎日の連絡帳や行動を通して、保護者に寄り添いながら、支援の方法を一緒に考えることができる。	その日の様子の良い所だけでなく、支援でうまくいかなかった部分も伝え、子ども自身の苦手なことも共有している。	
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	正職の経験年数が浅く、多岐にわたる支援が難しい。	職員の経験年数に差があり、訪問支援を担えるマンパワーが限られている。	園全体の職員の支援技術力の向上に向けて研修を行っていく。
2	外部とのつながりが持ちにくい。	正職の数が少なく、日常の業務に追われているために、研修会に出かけたり、園内で研修会をすることができにくい。	職員数を増やし、療育の質の向上ができるように、研修会への参加や園内で研修会を行う時間の確保する。
3			